

## 注目の逸品

カタロニア生まれの画家、ペレ・ボレル・デル・カソによる「非難を逃れて」は、思想的なメッセージ色よりも、画家の技巧を見せつけるだまし絵の傑作だ。専門家に話を聞いた。

聞き手 マリサ・ジュリアン 語り手 フランセスク・フォンボーナ・デ・バリエスカル（歴史家、美術批評家、カタロニア・モデルニスモ研究家）



この絵画について教えてください。

19世紀のトロンプ・ルイユ(だまし絵)として、ひととき目立っているのが「非難を逃れて (Escaping Criticism)」(前ページ)という作品です。題材の少年がフレームに足を掛け、まさに見る側の空間に足を踏み入れようとしています。写実主義の技術の粋が生み出した幻想の世界といつてよいでしょう。画家のペレ・ボレル・デル・カソは、精巧な描写によって見る人を驚かせたいと考えていました。死後およそ1世紀が経過した2002年のこと、この絵画はアメリカの首都ワシントンで開催された「偽りと幻想—5世紀にわたるトロンプ・ルイユ絵画 (Deceptions and



バルセロナのカタロニア・モデルニスモ美術館に展示されているペレ・ボレル・デル・カソの「微笑むふたりの少女 (Two girls laughing)」

(1880年)。この作品では、少女のひとりが絵から身を乗り出しているように見える。金箔装飾のフレームを描くことによって、錯覚の効果が見事に引き出されている。

実上の起源は古典期に遡ります。初めての事例は、古代ギリシャのゼウクシスの作品でしょう。この作品ではブドウが本物そっくりに描かれ、スズメがこのブドウをつつくために舞い降りたといわれています。ペレ・ボレル・デル・カソとは、どんな人物ですか。ボレル(1835~1910年)は、スペインのカタロニア州ブチャルダに生まれた画家で、ピュリスム(純粹主義)の影響を受けていました。ピュリスムはロマン主義の一派で、当時のカタロニアの芸術界を席巻していた理想主義的なスタイルです。しかしながら、ボレルは写実主義的な絵画を好みました。彼は斬新な写実主義のスタイルで有名になり、多くの支持者を獲得し、また熱心に弟子たちを指導しました。権威あるバルセロナ美術学校の教師に招かれましたが、バルセロナに自ら私設アカデミーを開設することを選び、数世代にわたり、カタロニアの傑出したアーティストたちの指導に携わりました。

この絵画に思想的なメッセージがあるとする根拠は特にありません。ボレルは写実主義的な作品で見る人を驚かせようとしただけでしょう。「非難を逃れて」というタイトルは、ボレルが引退した後の1905年に、美術雑誌「アルバム・サローン」で初めて使用された、ボレルとは無関係の人に名づけられたものです。ボレル自身の作品目録では、彼が2年後に制作したふたつ目のバージョンと同様、「絵から乗り出す少年 (Boy stepping out of the picture)」と記されており、こちらの方が適切に思います。

晩年を迎えたボレルは、一部の批評家に警戒心を抱いていたようです。スペインにもモダニズムが到来しており、彼のスタイルを時代遅れとする批評家が何人かいたからです。当時はどのように受け止められたのですか。最初の作品の時は、あまり大きな反響がありません

でした。当時、彼の作品のなかで最も成功していたのは、ボレルが何度も出展していた公式の作品展で賞を獲得した、大判サイズの歴史的な出来事を描いた絵画でした。彼は、肖像画、日常シーン、風景画、宗教的テーマなどで、中判サイズの絵画の制作依頼を受けたり、プライベートのレッスンを رفتたりすることで生計を立てていたのです。19世紀のこの時期は、トロンプ・ルイユはそれほど人気がありませんでした。意味もなく超絶技巧に走っている、という評価でした。「非難を逃れて」は現在誰が所有し、どれくらいの価値があるのですか。

スペイン銀行が所有しています。市場価格の判断は難しいところです。ボレルのほかの作品は注目度が低く、基準判定の材料にならないからです。しかしこの絵の絶大な人気から考えると、25万米ドルは下らないでしょう。もちろん、オークションになればさらに高い値が付くかもしれませんが、今のところ、オークションに掛けられる可能性はほとんどない状況です。ボレルのほかの作品はどのようなものですか。

同作品には、さらに3つのバージョンがあり、最高傑作はスペイン銀行が所蔵している1874年に描いた最初のバージョンです。彼の作品はいずれも、写実主義の原理に従っていますが、トロンプ・ルイユとして発表したのはごく一部です。例えば、バルセロナのカタロニア・モデルニスモ美術館に収蔵されている作品では、ふたりの少女が円形フレームの外に出てきそうな様子(写真上)が見て取れます。300点以上の作品のなかで、このようなはつきりとしたトロンプ・ルイユの特徴を示しているのは約15点です。

この時代のほかの画家によるトロンプ・ルイユの作品としては、2010年のオークションでウィリアム・ハートネットの作品が最高値(55万2000ドル)を付きました。また、ジョン・F・ペトとジョン・ハバールの絵画は、コレクターの間で特に人気があります。

「パテックフィリップ マガジン・エクストラ」(patek.com/owners)にて、この記事の特別関連コンテンツをご覧いただけます。

トロンプ・ルイユは、あたかも三次元オブジェであるかのような錯覚を引き出すために、アーティストが使うテクニックです。絵画においては、さまざまな画筆の手法を自在に操ることが要求されます。色合い、遠近法、レリーフ、陰影などを巧みに使って、対象となるオブジェを本物そっくりに見せるのです。この手法は特にルネサンス以降に栄えましたが、事